

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター(心臓病・脳卒中・がん専門施設)

2022.9

vol.197

看護部

スペシャリストの 紹介

当院における看護部スペシャリストとは診療看護師(JNP)・専門看護師(CNS)・認定看護師(CN)・特定看護師をさします。現在、総勢20名のスペシャリストが在籍し、専門的にまた組織横断的に活動を行っています。



がん看護専門看護師 野口 久美子

がん患者さまとご家族が、安心してがん治療を受けることができるように、また、治療を受けながらもいつもの生活を過ごすことができるように支援しています。

感染管理認定看護師 栗脇 千春・山下 健一郎

病院に関わるすべての人を対象として感染から守ることを目的とした活動です。少しでも安心した入院生活や職場環境を送れるように、病院現場の現状把握や改善活動を組織横断的に行っております。

緩和ケア認定看護師 川畑 博美・馬籠 さつき

患者さまとその家族が病を引き受け、自分らしく生活できるようにサポートします。患者さまの語りを聴き、強みに目を向けながらチーム全体でケア実践できるように活動していきたいと思っております。

がん化学療法看護認定看護師 徳永 志保

患者さまが、安全に治療が受けられると共に、セルフケアを実践できるよう支援しています。また、免疫チェックポイント阻害薬を使用する機会も増え医師・薬剤師と連携を図りながら、副作用対策に取り組んでいきたいと思っております。

がん放射線療法看護認定看護師 江口 洋子

患者さまやご家族が安心・安全に治療を受けられるように、治療による有害事象(副作用・合併症)を予防・緩和できるように支援しております。また、院内の様々な医療職者と連携を図り、予定通り治療が行なえるようサポート致します。

糖尿病看護認定看護師 尾辻 真由美

糖尿病患者さま一人一人と向き合い、生活スタイルや意向に沿った療養支援が行えるよう、院内外で活動しています。また、医師や管理栄養士と共に、腎症教育やフットケアに力を入れ、合併症予防に努めています。

**皮膚・排泄ケア認定看護師
前田 麻美**

人工肛門（ストーマ）を造設し排泄行動が変化した患者さまが一日でも早く日常生活を取り戻すことが出来る様に支援しています。また入院中の患者さまが皮膚障害を起こすことなく治療に専念することが出来るよう褥瘡予防対策チームと一丸となり取り組んでいます。

**認知症看護認定看護師
原田 恵子・北原 こゆき**

認知症を持つ患者さまは、入院や治療という環境変化によって混乱を来すことがあります。患者さまが、安心・安楽に治療を受けられるよう療養環境を整え、その人らしさを大切しながら、笑顔で療養生活を送ることが出来るような看護を実践しています。

**摂食・嚥下障害看護認定看護師
阪口 美穂**

摂食嚥下障害とは、食べる・飲むなどの食事の一連の動作の障害を指します。食べる・飲む事の一連の動作が疾患や加齢によりサポートが必要になった患者さまに寄り添い、安全に食事が摂取できるよう多職種と協働し、看護を提供します。

**クリティカルケア認定看護師
田代 祐子**

主に重症患者の重症化の予防と早期リハビリテーションを役割として活動しています。また、特定行為5区分14行為を習得し、人工呼吸器の調整等を行っています。RSTや早期離床リハビリチームの一員として、様々な職種と連携して患者さまの回復支援を行っています。

**脳卒中看護認定看護師 研修終了生
箱丸 友香**

急性期から重篤化回避・合併症予防を行い、予後を見据えた機能回復・生活再構築に向けて多職種と連携し、その人らしい生活が送れるように包括的に支援しています。また特定行為では、脳卒中・頭部疾患の患者を対象とし、医学的視点・看護学的視点を融合し、適切なタイミングで倫理的に配慮かつ安全に実施し、多職種と連携していきながら患者様の全身状態の回復支援を行っていきます。

**特定行為看護師
上脇 美代子**

特定行為は、診療の補助であって看護師が行う医療行為のうち、手順書により行う場合には実践的な理解力、思考力及び判断力、高度かつ専門的な知識・技術が特に必要とされるものとして定められた38の行為です。うち、呼吸器関連・循環器関連・外科術後病棟管理領域に対し適切かつ迅速に行う為、手順書をもとに行動しています。また、診療看護師・認定看護師と連携をはかり安全で質の高い看護の提供を行っています。

**特定行為看護師
田中 美香**

創傷管理関連・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の特定行為で、褥瘡や慢性創傷など創傷のある患者さまに医師の指示のもと、適切な処置を行い、少しでも早く傷が治るようケアをさせていただきます。また、褥瘡予防対策チームの一員として、多職種と連携を図り患者さまのサポート行っています。

**診療看護師
出口 喬一・新坂 享子
伊藤 由加（救急看護認定看護師兼務）**

診療部に所属し、患者さまに安心・安全を担保した医療を円滑に提供することを目標に活動しています。医師 - 看護師 - 多職種と連携し、必要とされる処置や看護が何かを見極めて実践することで、医療や看護のボトムアップに貢献できるように努めています。

我々の活動の一環として、それぞれの領域から皆様のお役に立ちそうな情報をホームページにアップしております。鹿児島医療センターホームページ→部門・看護部→スペシャリストの紹介→下にスクロールしていくと、「喫茶きゃっするまうんてん」を開設しております。定期的に配信しておりますので、最新のものはHOME→お知らせ一覧からも閲覧可能です。興味のある方は是非お立ち寄りください。

編集担当：リソースナース会広報チーム



リードレスペースメーカ植込み250例

2017年9月に本邦において、リードレスペースメーカ植込み(Micra)が保険償還され、当院においても2017年9月14日に第1例目を開始し、2022年7月で250例を達成しました。

リードレスペースメーカは、大腿静脈からアプローチし、わずか容積0.8cc/重さ1.75gのデバイスのみを右室内に挿入するペースメーカです。これまで心室ペースング(VVI/VVIR)設定のみに限定されるペースングモードでしたが、Micra AVが2021年11月より使用できるようになり、安静時の房室同期が可能となりました。植込み手技における手順の違いはありません。

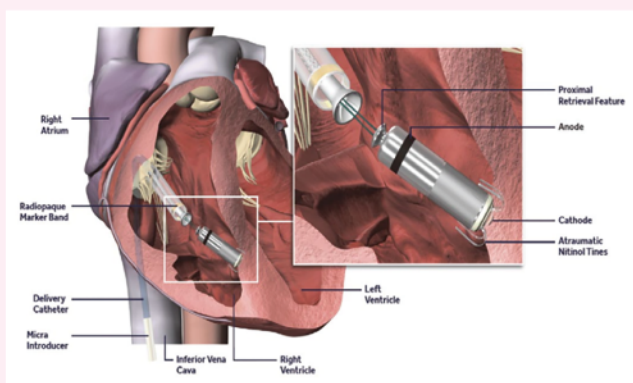


Micra AVは加速度センサーによる心房機械的センシングで得られた情報をもとに房室同期ペースングを実現します。デバイスにはペースングする電極とコンピュータ、電池がすべて組み込まれており、予測電池寿命は約8~13年で、1.5/3テスラ全身MRI対応しています。

これまで通り、Micraの留置には専用の23 Frの太い血管造影用シースを挿入する必要があり、大腿静脈に関連した血腫や血管損傷、心タンポナーデなどの合併症があり、三尖弁損傷やペースメーカ脱落など、従来の経静脈ペースメーカにはなかった様々な問題もあります。リードがないこと、ジェネレータを皮下に植込む必要がないことから、近年増加傾向にあるデバイス感染が少ないとされていますが、必ずしも合併症はゼロにはならず、異物を身体の中に留置しますので注意が必要です。

これまで、リードレスペースメーカ植込み適応は、VVI型ペースングに適した患者さまのうち、下記の疾患を持つものとされていました。

- ①心房細動を併発した症候性の発作性または慢性の高度房室ブロック
- ②心房細動を併発しない症候性の発作性または慢性の高度房室ブロックを有し、心房へのリード留置が困難またはハイリスクあるいは効果的と認められない場合



(Circ J 2017; 81: 1589-1595より)

- ③症候性の徐脈頻脈症候群または同機能不全症候群で、心房へのリード留置が困難またはハイリスクあるいは効果的と認められない場合

ペースメーカ植込みが必要な患者さま全てに適応があるわけではありませんが、房室同期ペースング機能が新たに加わり、適応範囲が広がったと思います。

経静脈ペースメーカでのリード抜去後や残存リードの存在、リード留置可能なアクセスルートがない、胸部の皮下組織がない、ペースメーカ感染等のリスクの可能性が高いなどでお困りの患者さまがおられましたらご相談ください。

(文責：循環器内科主任部長 藺田 正浩)

| 診療科 | 曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|-------------------|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 血液内科 | 初診 | 大塚 真紀 | 原口 浩一 | 鎌田 勇平 | 大塚 真紀 | 大塚 五月 |
| | 再診 | 大塚 真紀 鎌田 勇平 | 大塚 五月 原口 浩一 | 鎌田 勇平 | 大塚 真紀 原口 浩一 | 大塚 五月 |
| | 移植後フォローアップ外来※ | 血液内科医師及び看護師 (完全予約制) | | | | |
| 腫瘍内科 | 初診・再診 | 魚住 公治 鈴木 紳介 | 魚住 公治 | 魚住 公治 | 魚住 公治 | 魚住 公治 |
| | 肉腫専門外来 | | | | | 魚住 公治 |
| 糖尿病・内分泌内科 | | 郡山 暢之 | 児島 奈弥 牧野 美和 | 郡山 暢之 | 郡山 暢之 當房 卓也 | 郡山 暢之 |
| 糖尿病療養指導外来※ | | 糖尿病看護認定看護師 | | | | |
| 消化器内科 | 消化管・胆膵 | 井上 和彦 | 福森 光 | 福森 光 | | 井上 和彦 |
| | | 梶原 涼 | 宮之前 優香 | 宮之前 優香 | | 梶原 涼 |
| | 肝臓 | 櫻井 一宏 | 森内 昭博 | 櫻井 一宏 | 森内 昭博 | 櫻井 一宏 |
| 腎臓内科 | | 古庄 正英 | 古庄 正英 | 「手術日」 | 古庄 正英 | |
| 第一循環器内科 | | 中島 均 福永 研吾 福嶋 篤 | 片岡 哲郎 高崎 州亜 | 中島 均 野元 裕太郎 | 中島 均 稲津 真穂人 | 高崎 州亜 沖野 秀人 |
| 第二循環器内科 *弁膜症外来 火曜日 | | 馬場 善政 園田 幸一郎 | 田中 康博 末 健作 平塚 聖久 | 園田 正浩 | 田中 康博 伊集院 駿 水田 善之 | 園田 正浩 長野 真二郎 松本 洋之 |
| 不整脈治療科 | | 塗木 徳人 | | 塗木 徳人 蔡 榮鴻 | | 塗木 徳人 |
| 脳・血管内科 | | 松岡 秀樹 濃田 祐樹 池田 め衣 | 松岡 秀樹 高口 剛 濃田 祐樹 | 松岡 秀樹 池田 め衣 | 松岡 秀樹 山下 悠亮 | 松岡 秀樹 高口 剛 |
| 小児科 *心臓健診 月曜日～金曜日 | | 楠松 貴成 安留 悠希 二宮 由美子 | 田中 裕治 楠松 貴成 安留 悠希 二宮 由美子 | 田中 裕治 楠松 貴成 安留 悠希 | 二宮 由美子 楠松 貴成 安留 悠希 | 田中 裕治 二宮 由美子 吉永 正夫 |
| 放射線科 | 放射線治療 | 上山 友子 | 上山 友子 | 上山 友子 (午前のみ) | 上山 友子 | 上山 友子 |
| | 画像診断 CT・MRI・RI | 井手上 淳一 薬水流 絵梨奈 | 井手上 淳一 長野 えりな | 薬水流 絵梨奈 長野 えりな | 井手上 淳一 薬水流 絵梨奈 | 井手上 淳一 長野 えりな |
| 心臓血管外科 | | 川津 祥和 | | 金城 玉洋 | | 立石 直毅 |
| 外科・消化器外科 | | | 塗木 健介 高取 寛之 | | 塗木 健介 高取 寛之 宮崎 俊明 | |
| 脳神経外科 *水曜日は、手術日のため外来診療休止 | | 久保 文克 | 久保 文克 | 「手術日」 | 今村 純一 (完全予約制) | 増田 圭亮 |
| 婦人科 *完全予約制 | | 吉永 浩介 牧瀬 裕恵 甲斐 美帆 | 神尾 真樹 吉永 浩介 甲斐 美帆 | 「手術日」 | 神尾 真樹 吉永 浩介 牧瀬 裕恵 | 神尾 真樹 牧瀬 裕恵 甲斐 美帆 |
| 耳鼻咽喉科 *完全紹介制 (初めての時は医師の紹介が必要です) | | 松崎 勉 西元 謙吾 | 「手術日」 | 松崎 勉 西元 謙吾 | 「手術日」 | 松崎 勉 西元 謙吾 |
| 泌尿器科 *火曜日は、手術日のため外来診療休止 | | 川平 秀一郎 | 「手術日」 | 川平 秀一郎 | 川平 秀一郎 | 川平 秀一郎 |
| 皮膚腫瘍科・皮膚科 | | 松下 茂人 青木 恵美 西原 克彦 | 「手術日」 | 松下 茂人 青木 恵美 佐々木 奈津子 | 「手術日」 | 松下 茂人 青木 恵美 |
| 眼科 ※ 外来診療のみ | | 田代 葵子 | 田代 葵子 | 休診 | 田代 葵子 | 田代 葵子 |
| 歯科口腔外科 | | 中村 康典 木村 菜美子 | 中村 康典 木村 菜美子 | 中村 康典 木村 菜美子 | 中村 康典 木村 菜美子 | 中村 康典 木村 菜美子 |
| 専門外来※ | 医師 | 緩和ケア外来・松崎 勉 がんゲノム医療相談外来・鈴木紳介 | | 腹水外来 櫻井 一宏 | | |
| | 看護師 | フットケア外来 糖尿病看護認定看護師 | | リンパ浮腫外来 リンパ浮腫指導技術者 | ストーマケア外来 皮膚・排泄ケア認定看護師 | |
| セカンドオピニオン外来※ 『健康診断』 受付 午前8:45～10:00 | | 循環器疾患、心臓血管疾患、脳血管疾患、がん、悪性新生物、血液疾患 | | | 第一循環器内科 | 第二循環器内科 |
| | | | | | 脳・血管内科 | |

受付時間 午前8時45分から11時00分まで
 診療時間 午前8時45分から午後5時15分まで*ただし、急患についてはこの限りではありません
 休診日 土・日曜日・祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)
 ※移植後フォローアップ外来・糖尿病療養指導外来・専門外来・セカンドオピニオン外来については完全予約制となっております。事前に電話確認をお願い致します
 *不在予定医師につきましてはお電話またはホームページにてご確認ください
 *歯科診療に関しては当院入院患者さまのみとなっております
 予約センター
 ・専用FAX: 0120-334-476 ・専用TEL: 0120-680-704

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター** (心臓病・脳卒中・がん専門施設)
 〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号
 (代)TEL 099(223) 1151 FAX 099(226) 9246 <https://kagomc.hosp.go.jp/>
メディカルサポートセンター
 地域連携室専用FAX▶099(223)1177
 ※休日・時間外は当直者で対応します。

